

American DJ®

VIZI LED SPOT

取扱説明書

Ver. 1.00



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は American DJ VIZI LED SPOT をご購入頂き、誠にありがとうございます。

VIZI LED SPOT は 22W の LED を搭載したムービングヘッドです。スモークマシンと組み合わせてご使用頂くことで、空間をより華やかに彩ることができます。

本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前に取扱説明書を必ずお読みください。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

特徴

- ・ 8 カラー + 白
- ・ 7 回転ゴボ (5 メタルゴボ、2 ガラスゴボ)
- ・ サウンドアクティブモード (本体にマイクを内蔵)
- ・ DMX-512 対応 (10 / 12DMX チャンネル)

安全上の注意

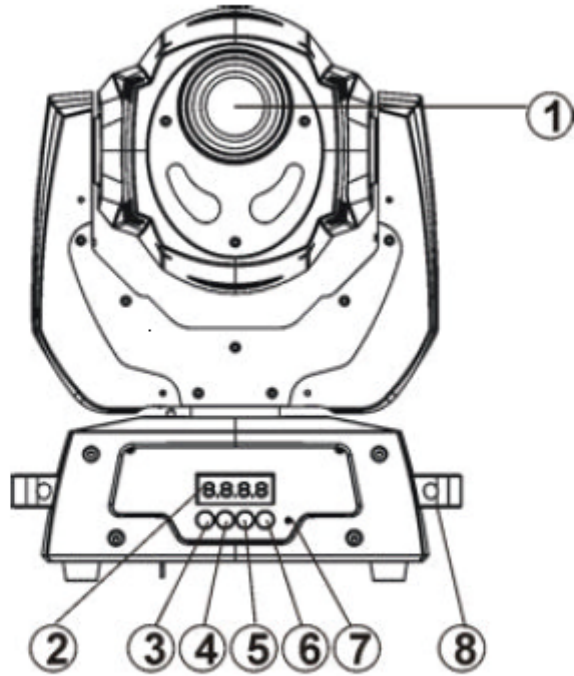
1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常がある場合は本製品の使用をお止め頂き、販売店にご相談ください。
2. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルは踏まれたり挟まれたりする事のない場所に設置してください。
3. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れてください。本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
4. 電源、電圧が正しい事を確認してください。AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
5. ディマーパックからの電源供給によるご使用はお止めください。
6. 電源ケーブルをコンセントから抜く際は、必ずプラグを持って行ってください。
7. 感電防止のため、使用中は部品に触れないでください。また、本体カバーを外した状態で本製品を使用しないでください。
8. -25～45 度の屋内で使用してください。屋外で使用した場合は保証対象外となります。
9. 本体は壁から 50cm 以上離れた通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意ください。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないでください。
10. 本体に液体がかからないよう、また雨天や湿気にさらさないようご注意ください。感電や火災の原因になります。
11. 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。

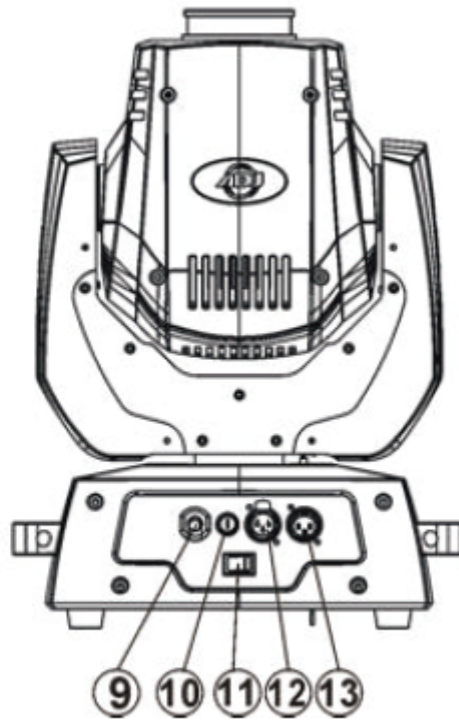
メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

各部の名称

FRONT



REAR



① 一体型レンズ

DMX モードでのランプ調整に特化した高性能レンズです。

② デジタルディスプレイ

メニューや機能を表示します。

③ MODE/ESC ボタン

メインメニューに入ります。また、メニューを後退または終了します。

④ UP ボタン

メニューの選択画面を上スクロールします。

⑤ DOWN ボタン

メニューの選択画面を下スクロールします。

⑥ ENTER ボタン

メニュー画面で選択した機能を決定します。特定のメニュー画面では終了ボタンにもなります。

⑦ 内蔵マイク

サウンドアクティブモードの際、外部からの低域音を感知します。この内蔵マイクは低域音のみを感知するため、音または音量によっては反応しないことがあります。

⑧ ハンドル

ユニットを持ち運ぶ際は、このハンドルを持ってください。ヘッドやアームを持つと故障の原因となります。

⑨ 電源ケーブル

正しい電圧でご使用ください。電源ケーブルに不具合がある状態では使用しないでください。電源アースはユニット内部でショートした際の火事や漏電を防ぎます。

⑩ ヒューズホルダー

ヒューズホルダーには 2A タイムラグヒューズが格納されています。ヒューズの対応電流を超えて使用しないでください。また、交換の際は同じ対応電流のヒューズをご使用ください。

⑪ 電源スイッチ

ユニットの電源をオンまたはオフに切り替えます。

⑫ DMX 出力端子 (3 ピン XLR)

入力された DMX 信号を他の DMX 機器に転送する際に使用します。また、マスター/スレーブモードでユニット同士を接続する際にも使用します。

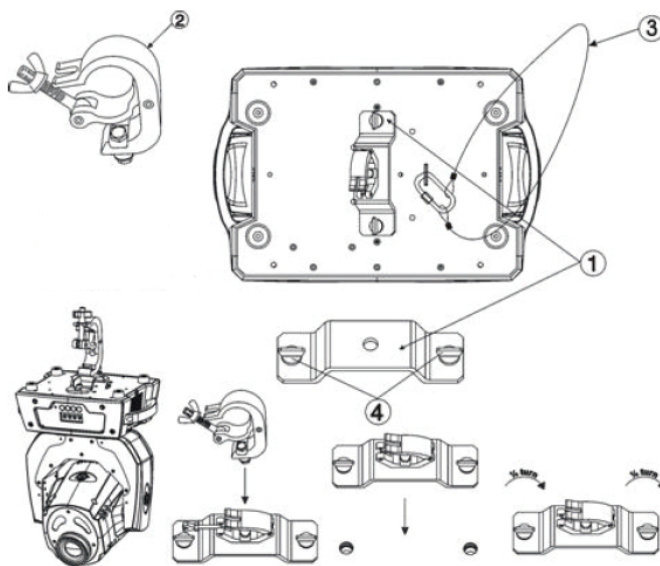
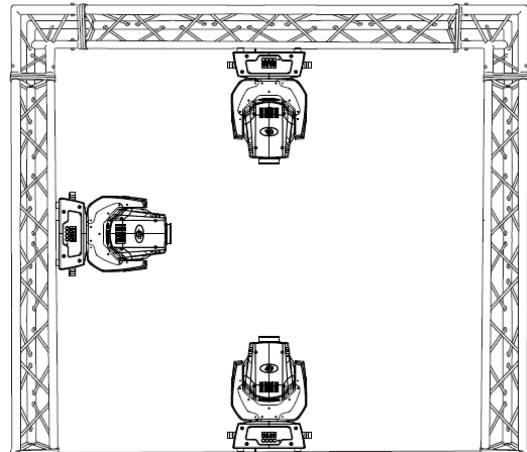
⑬ DMX 入力端子(3 ピン XLR)

DMX 信号の入力や、マスター/スレーブモードでの接続時に使用します。

本体の設置方法

本体を取り付ける際には、設置面が最低で本体の 10 倍の荷重に耐えうる平面であることを予め確認してください。また、セーフティーワイヤーを使って二次的な安全を確保してください。セーフティーワイヤーは必ず専用箇所へ取り付け、ハンドルには取り付けないでください。

VIZI LED SPOT は平面上への設置、天井からの吊り下げ、また、側面に設置することが可能です。灯体の設置時及び撤去時には、絶対に真下に立たないようにしてください。



- ① オメガホルダー
- ② クランプ(別売)
- ③ セーフティーワイヤー(別売)
- ④ クイックロック

1. オメガホルダーにクランプを取り付けてください。
2. 本体の底面にオメガホルダーのクイックロック部を挿入し、クイックロックを時計回りにしっかりと締めてください。
3. クランプを用いて本体を設置箇所に取り付けます。
4. 本体の底面にある専用の穴に、セーフティーワイヤーのカラビナを掛けてください。
5. 設置箇所にセーフティーワイヤーを回し、末端にカラビナを掛けてください。

システムメニュー

Addr	A001 A500		DMXアドレスを表示 ※A001はスレーブの設定にもなります。
test	t-01 t-12		各機能の自動テスト
PLAY	run	NRSt ALON	オートモード (マスターまたはスレーブ)
	RUd1	NRSt ALON	サウンドアクティブモード (マスターまたはスレーブ)
	RUt0	HOLD RUt0 RUd1 CLOS	DMX 信号喪失時の動作
rese	ALL		全モーターをリセットして初期位置へ
	SCAN		パン/チルトモーターのリセット
	COLr		カラーモーターのリセット
	90b0		ゴボ/回転モーターのリセット
	0tHr		その他モーターのリセット
time	LIFE	0000 ~ 9999	ユニットの総動作時間を表示
	CLNP		動作時間のクリア
pan	ON OFF		パンの逆転
til	ON OFF		チルトの逆転
fine	ON OFF		16ビット(ON) / 8ビット(OFF)切り替え
deg	540 630		パン角度選択
mic	n-00 n-99		マイク感度
disp	URLU	d-00 d-12	各チャンネルの DMX 値を表示
	d ON	ON OFF	2 分後にディスプレイを消灯

	FLIP	ON OFF	ディスプレイの表示を 180° 回転		
	LOCK	ON OFF	キーロック		
SPEC	rdm11	ON OFF	DMX コントローラーで DMX アドレスを切替		
	SPOt	ON OFF	光の最適化		
	dFSE	ON OFF	ユニットの全機能をリセット		
	FEEd	ON OFF	パン/チルトのエラー修正 ON/OFF		
	FANS	AUTO HIGH LOW	ファンの動作モード選択		
	ver	U-10~U-99	ソフトウェアのバージョン表示		
	AdjU	CODE	コード番号 C050		
CHO1~		-128~127	モーター調整		
Edit	SEPr	AUTO IPO1~		編集するプログラムの 選択	
	StEP	S-01~S-48		プログラムの数量設 定	
	SC01 : :	C-01~C-12	0100~01FF : : 1200~12FF		各シーンのチャンネル 編集
		tIME	t001~t999		各シーンのタイム
		CEdt	ON OFF		DMX コントローラーで のプログラム編集
	rEC	rEO1		オートセーブ	
	rUN	ON OFF		プログラムテスト	

ADDR (ADDRESS)メニュー

ADD 1 - RS00 - ユニットの DMX アドレスを設定します。

TEST メニュー

ト-01 - ト-12 - 各チャンネルの機能をテストします。チャンネルは 9 つあります。

※いくつかのチャンネルはテストできません。

PLAY メニュー

run - マスターまたはスタンドアローンで、内蔵プログラムにより自動で動作します。

Aud 1 - マスターまたはスタンドアローンでサウンドアクティブ動作をします。

AUTO - DMX 信号喪失時の動作を設定します。下記の 4 つのモードから選択できます。

- ・ HOLD - DMX 信号を喪失すると、直前の動作でホールド状態になります。
- ・ AUTO - DMX 信号を喪失するとオートモードとなり、内蔵プログラムのショーを実行します。
- ・ AUD 1 - DMX 信号を喪失すると、サウンドアクティブモードに切り替わります。
- ・ CLOS - DMX 信号を喪失すると、初期位置に戻ります。

RESE (RESET) メニュー

ALL - 全モーターをリセットします。

SCAN - パン/チルトのモーターをリセットします。

COLR - カラーホイールのモーターをリセットします。

9060 - ゴボホイールのモーターをリセットします。

Other - その他のモーターをリセットします。

TIME メニュー

LIFE - 総動作時間を表示します。

CLNP - 動作時間を消去します。

RPAN (REVERSE PAN)メニュー

ON / OFF - ON 選択でパンを逆転します。

RTILT (REVERSE TILT)メニュー

ON / OFF - ON 選択でチルトを逆転します。

FINE メニュー

ON / OFF - パン/チルトの動作について、16 ビット(12DMXch) / 8 ビット(10DMXch)の切り替えを行います。

DEGR メニュー

540 / 630 - パンの角度を 630° / 540° で切り替えます。

MIC メニュー

n-00 - n-99 - マイクの感度を調整します。

DISP (DISPLAY)メニュー

UaLU - 各チャンネルの DMX 値を表示します。

d ON - ON に設定すると、2 分後にディスプレイを消灯します。

FL IP - ディスプレイの表示を 180° 回転します。

LOCT - 15 秒後、操作ボタンが自動的にロックされます。

SPEC メニュー

r d n i i - DMX コントローラーで DMX アドレスの設定を行います。

SPOt - 光の調整のため、白色オープンでスポット照射します。

d FSE - ユニートをリセットしてデフォルト状態に戻します。

FEEd - パン/チルトの修正について、ON/OFF の設定を行います。

FANS - ファンの動作モードを選択します。

uEr - ソフトウェアのバージョンを表示します。

AdJU - モーターの調整を行います。

EDIT メニュー

SEPr (AUTO IP01 - IP07) - 内蔵プログラムの編集を行います。

StEP (S-01 - S-48) - プログラムを書き込むステップスロットです。合計 48 のステップがあります。詳しくは「プログラムの編集」をご参照ください。

SCD i (SC01 - SC30) - プログラムに格納されているシーンです。合計 30 のシーンがあります。

r EC - 編集したプログラムを自動的に保存します。

r UN - 編集したプログラムを実行します。

オンボードシステムメニュー

システムメニューの各コマンドについて、機能の詳細を説明します。

Addr - メインメニュー - : DMX アドレスを設定します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **Addr** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイに **ADD 1** と表示されます。UP/DOWN ボタンを押して DMX アドレスを設定します。
4. ENTER ボタンを押して決定します。
5. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

ディスプレイの表示が **ADD 1** で点滅している間は、UP/DOWN ボタンを押して DMX アドレスを変更することができます。

tEst - メインメニュー - : 各チャンネルの機能をテストします。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **tEst** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイに **t-0 1** と表示されます。UP/DOWN ボタンを押してテストするチャンネルを選択できます。
4. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

PLAY - メインメニュー -

rUN : マスター/スレーブ機能のマスター、またはスタンドアローンとして、オートモードで動作します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **PLAY** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. **rUN** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して **MASt** もしくは **ALON** を選択し、ENTER ボタンを押して決定します。
PASS と点滅し、動作を開始します。

RUd 1 : マスターもしくはスタンドアローンで、サウンドアクティブモードを起動します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **PLAY** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. **RUd 1** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して **MASt** もしくは **ALON** を選択し、ENTER ボタンを押して決定します。
PASS と点滅し、動作を開始します。

AUTO : DMX 信号喪失時の動作を 4 つのモードから設定します。各モードの動作については、前述の「システムメニュー」を参照してください。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **PLAY** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. **AUTO** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. **HOLD**、**AUTO**、**AUD 1**、**CLOS** から選択し、ENTER ボタンを押して決定します。デフォルトでは **HOLD** が選択されています。

rESE - メインメニュー -

ALL : すべてのモーターをリセットします。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **rESE** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. **ALL** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押します。
4. ENTER ボタンを押すと、すべてのモーターがリセットされます。ENTER ボタンを押さずに、MODE/ESC ボタンを押してキャンセルし、メインメニューに戻ることもできます。

SCAN : パンとチルトのモーターをリセットします。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **rESE** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. **SCAN** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押します。
4. ENTER ボタンを押すと、パンとチルトのモーターがリセットされます。ENTER ボタンを押さずに、MODE/ESC ボタンを押してキャンセルし、メインメニューへ戻ることもできます。

COLr : カラーホイールのモーターをリセットします。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **rESE** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. **COLr** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押します。
4. ENTER ボタンを押すと、カラーホイールのモーターがリセットされます。ENTER ボタンを押さずに、MODE/ESC ボタンを押してキャンセルし、メインメニューに戻ることもできます。

9060 : ゴボホイールのモーターをリセットします。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **rESE** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. **9060** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押します。
4. ENTER ボタンを押すと、ゴボホイールのモーターがリセットされます。ENTER ボタンを押さずに、MODE/ESC ボタンを押してキャンセルし、メインメニューへ戻ることもできます。

0tHr : リセットメニューにはない、その他のモーターをリセットします。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **rESE**と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. **0tHr**と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押します。
4. ENTER ボタンを押すと、その他のモーターがリセットされます。ENTER ボタンを押さずに、MODE/ESC ボタンを押してキャンセルし、メインメニューへ戻ることもできます。

t INE - メインメニュー -

L IFE : ユニットの総動作時間を表示させます。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **t INE**と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. **L IFE**と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押すと、総動作時間が表示されます。
4. MODE/ESC ボタンを押すと、メインメニューへ戻ります。

CLNP : ユニットの動作時間を消去します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **t INE**と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. **CLNP**と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押すと、動作時間が消去されます。
4. MODE/ESC ボタンを押すと、メインメニューへ戻ります。

rPAN - メインメニュー - : パンの動作を逆転します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **rPAN**と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して **ON**もしくは **OFF**を選択します。 **ON**でパンの逆転、 **OFF**で解除となります。
4. ENTER ボタンを押して決定します。

rTIL - メインメニュー - : チルトの動作を逆転します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **rTIL**と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して **ON**もしくは **OFF**を選択します。 **ON**でチルトの逆転、 **OFF**で解除となります。
4. ENTER ボタンを押して決定します。

F INE - メインメニュー -

F INE : パンとチルトの動作を8ビット、16ビットから選択します。それに伴い、DMXチャンネルモードも10チャンネル(8ビット)または12チャンネル(16ビット)に切り替わります。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示します。
2. F INE と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して ON もしくは OFF を選択します。ON で16ビット(12DMXch)、OFF で8ビット(10DMXch)となります。
4. ENTER ボタンを押して決定します。

dE9r - メインメニュー - : パンの動作角度を変更します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示します。
2. dE9r と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. UP/DOWN ボタンを押して 630 もしくは 540 を選択します。
4. ENTER ボタンを押して決定します。

n IC - メインメニュー - : サウンドアクティブ動作時のマイク感度を調節します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示します。
2. n IC と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. ディスプレイに n-00 と表示されるので、UP/DOWN ボタンを押して n-00-n-99 の間でマイク感度を調整します。数値が大きいほどマイク感度が高くなります。
4. ENTER ボタンを押して決定します。

di SP - メインメニュー -

URALU : 各チャンネルの DMX 値を表示します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示します。
2. di SP と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. URALU と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. ディスプレイに d-00 と表示されるので、UP/DOWN ボタンを押してチャンネルを選択します。例えば d-12 を選択すると、チャンネル12のDMX値が表示されます。
5. ENTER ボタンを押して決定します。

d ON : ON に設定すると2分後にディスプレイが終了します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. di SP と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. d ON と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して ON もしくは OFF を選択します。ON を選択すると2分後に

ディスプレイ消灯の設定、**OFF**を選択すると常時点灯となります。

5. ENTER ボタンを押して決定します。

FL IP : ディスプレイの表示を 180° 回転します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **di SP**と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. **FL IP**と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して **ON**もしくは **OFF**を選択します。 **ON**を選択するとディスプレイが 180 度回転し、**OFF**を選択すると解除となります。
5. ENTER ボタンを押して決定します。

LOCK : 15秒後に操作ボタンが自動的にロックされます。解除するにはMODE/ESCボタンを3秒間押し続けます。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **di SP**と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. **LOCK**と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して **ON**もしくは **OFF**を選択します。 **ON**でロック、**OFF**で解除となります。
5. ENTER ボタンを押して決定します。
6. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

SPEC - メインメニュー -

rdm11 : DMX コントローラーを使用して DMX アドレスを変更できるようにします。出荷時は ON に設定されています。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **SPEC** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. **rdm11** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して **ON** もしくは **OFF** を選択します。 **ON** で変更可能、 **OFF** で解除となります。
5. ENTER ボタンを押して決定します。ディスプレイには **PASS** と点滅表示されます。

※ この機能を使用する際は、以下の点に注意してください。

DMX コントローラーから DMX アドレスを変更する際は、現在設定されているアドレスをユニットのディスプレイに表示させてから変更する必要があります。初めに DMX コントローラーですべての DMX 値が 0 に設定されていることを確認してください。

1. DMX コントローラーで、チャンネル 1 の DMX 値を“7”に設定してください。
2. チャンネル 2 の DMX 値を“7”に設定し、アドレスを 1 - 255 の間に設定してください。アドレスを 256 - 511 の間に設定する場合は、チャンネル 2 の DMX 値を“8”に設定してください。
3. チャンネル 3 の DMX 値を、希望のアドレスに設定してください。ユニットが新しい DMX アドレスを認識するのに、約 20 秒かかります。

(例 1) DMX アドレスを 57 に設定する場合、チャンネル 1 とチャンネル 2 の DMX 値を“7”にした上で、チャンネル 3 のアドレスを 57 に設定します。

(例 2) DMX アドレスを 420 に設定する場合、チャンネル 1 の DMX 値を“7”に、チャンネル 2 の DMX 値を“8”にした上で、チャンネル 3 のアドレスを“164” ($256+164=420$) に設定します。

SPOT : 光の調整のため、白色オープンでスポット照射します。このモードが起動している間、ほかの信号には反応しません。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **SPEC** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. **SPOT** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して **ON** もしくは **OFF** を選択します。LED を点灯させるには **ON** を選択します。
5. ENTER ボタンを押すとメインメニューに戻ります。

dfSE : すべての設定をリセットしてデフォルト状態に戻します。リセットを実行すると、編集したシーンは失われます。この機能を使用する際は、編集を始めたアドレスに設定している必要があります。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
 2. **SPEC** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
 3. **dfSE** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
 4. UP/DOWN ボタンを押して **ON** もしくは **OFF** を選択します。 **ON** で起動 **OFF** で解除となります。
 5. ENTER ボタンを押して決定します。ディスプレイには **PASS** と点滅表示されます。
- この機能を終了すると、ユニットは自動的にデータをリロードします。

FEEd : パン/チルトの修正を行う機能です。何らかの理由でパン/チルトが設定位置からずれた際、自動的に位置を修正します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. **SPEC** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. **FEEd** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して **ON** もしくは **OFF** を選択します。 **ON** で有効、 **OFF** で解除となります。
5. ENTER ボタンを押して決定します。

FANS : ファンの動作モードを **LOW**(弱)、**HIGH**(強)、**AUTO**(自動)から選択します。デフォルトでは **AUTO** に設定されています。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示します。
2. **SPEC** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. **FANS** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して **LOW**、**HIGH**、**AUTO** のいずれかを選択します。
5. ENTER ボタンを押して決定します。

ver : ソフトウェアのバージョンを表示します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示します。
2. **SPEC** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. **ver** と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. バージョンを表す **U- 10-U-99** の内、いずれかがディスプレイに表示されます。
5. ENTER ボタンを押して終了します。

AdJU : モーターを調整します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示します。
2. SPEC と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. AdJU と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. CODE と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
5. ディスプレイに C000 と表示されます。数字はキャリブレーションパスワードを表します。パスワードは C050 です。UP/DOWN ボタンを押して正しいパスワードを入力してください。
6. ディスプレイに CH01 と表示されます。数字はユニットのチャンネル番号を表します。UP/DOWN ボタンを押して希望のチャンネル番号を表示させ、ENTER ボタンを押します。
7. 正しいパスワードが入力されていると、ディスプレイに数値が表示されます。
8. UP/DOWN ボタンを押して、希望のキャリブレーション値を-128 から 127 の間で設定します。キャリブレーション値をスクロールすると、ユニットのホイールやモーターが動きます。
9. 希望の値が表示されたら ENTER ボタンを押します。
10. 設定が終了したら、MODE/ESC ボタンを押してメインメニューに戻ります。

Ed It - メインメニュー -

コントロールパネルまたは DMX コントローラーを使用して、プログラムをメモリ (EEPROM) に書き込むメニューです。

SEPr (IP01~IP07) : 内部プログラム (IP01-IP07) の編集を行います。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示します。
2. Ed It と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. SEPr と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. ディスプレイに IP01 と表示されます。数字は 01~07 のいずれかです。UP/DOWN ボタンを押して編集するプログラムの番号を選択し、ENTER ボタンを押します。

StEP (S-01~S-48) : 各プログラムにおけるステップ数を設定します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. Ed It と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. StEP と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. プログラムの最初のステップを表す S-01 がディスプレイに表示されます。各プログラムにおけるステップ数を UP/DOWN ボタンを押して選択し、ENTER ボタンを押します。rUN では最大 48 のシーンが呼び出せます。ディスプレイの表示が S-05 となっている場合は、Ed It で保存した最初の 5 シーンを rUN で実行します。

SC01(SC01～SC30) : プログラムのシーンを編集します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. Ed It と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. SC01 と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押します。これはプログラムの最初のシーンを表します。
4. ENTER ボタンを押すと、ディスプレイに C-01 と表示されます。これはチャンネルを表します。調整を行うチャンネルを UP/DOWN ボタンで選択し、ENTER ボタンを押します。
5. UP/DOWN ボタンを押して任意の数値に設定し、ENTER ボタンを押します
6. MODE/ESC ボタンを押してメニュー画面に戻ります。
7. 設定が完了するまで手順 3-6 を繰り返します。

rEC : DMX コントローラーでシーンを自動的に記録させます。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. Ed It と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. rEC と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. ディスプレイに rE01 と表示されます。数字はシーンの番号を表します。DMX コントローラーから書き込まれたシーンは、内部メモリに保存されます。
5. UP/DOWN ボタンを押して、任意のシーン番号を選択します。
6. ENTER ボタンを押して決定すると、DMX コントローラーから入力されたシーンを記録します。
7. MODE/ESC ボタンを押して、メインメニューに戻ります。

rUN : 作成したプログラムを再生します。

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. Ed It と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. rUN と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して ON もしくは OFF を選択し、ENTER ボタンを押して決定します。
ON でプログラムを開始します。
5. MODE/ESC ボタンを押すとプログラムが停止し、メニュー画面に戻ります。

プログラムの編集

編集手順 1 : コントロールパネルを使用した編集

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. Ed It と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. SC0 1 と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押します。数字はシーン番号を表します。編集するシーン番号を UP/DOWN ボタンを押して選択し、ENTER ボタンを押します。
4. ディスプレイに C-0 1 と表示されます。数字はチャンネル番号を表します。編集するチャンネル番号を UP/DOWN ボタンを押して選択し、ENTER ボタンを押します。
5. 選択したチャンネルの DMX 値がディスプレイに表示されます。1 100 と表示された場合はチャンネル 11 であることを意味し、また下 2 桁は DMX 値を表します。UP/DOWN ボタンを押して、任意の値に設定し、ENTER ボタンを押します。
6. 手順 4 - 5 を繰り返して、他のチャンネルの DMX 値を設定します。
7. すべてのチャンネルの編集が終了したら、UP/DOWN ボタンを押して TIME という表示にします。これはシーンを再生する時間を表します。
8. ENTER ボタンを押すと 000 1 と表示されます。UP/DOWN ボタンを押してシーン再生時間を設定し、ENTER ボタンを押します。ディスプレイに表示される数字が再生時間を表します。例えば 0002 の場合は、再生時間が 2 秒ということを表します。
9. 手順 3 - 8 を繰り返して、他のシーンの編集を行います。
10. MODE/ESC ボタンを押して終了します。ステップ数は STEP で確認できます。また、設定したシーンは RUN で呼び出すことができます。

編集手順 2 : DMX コントローラーを使用した編集

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. Ed It と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. SC0 1 と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押します。数字はシーン番号を表します。
4. ENTER ボタンを押すと、ディスプレイに C-0 1 と表示されます。UP/DOWN ボタンを押して CEdt という表示にし、ENTER ボタンを押します。
5. ディスプレイに OFF と表示されます。プログラムしたいシーンを DMX コントローラーで再生します。
6. UP/DOWN ボタンを押して ON を選択し、ENTER ボタンを押します。
7. ディスプレイに SC02 と表示されたら、ENTER ボタンを押します。
8. UP/DOWN ボタンを押して TIME という表示にします。UP/DOWN ボタンを押してステップの再生時間を設定し、ENTER ボタンを押します。
9. 手順 3 - 8 を繰り返して、任意のシーンをすべてプログラムします。
10. MODE/ESC ボタンを押して終了します。ステップ数は STEP で確認できます。また、設定した

シーンは「UP」で呼び出すことができます。

編集手順 3 : DMX コントローラーから選択したシーンを自動的に記録する

1. MODE/ESC ボタンを押してメインメニューを表示させます。
2. Ed It と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. STEP と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押してステップ数を選択し、ENTER ボタンを押して決定します。
5. 「EC」と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
6. ディスプレイに「ED 1」と表示されます。数字は内部メモリのシーン番号を表し、コントローラーから選択したシーンがここに保存されます。
7. コントローラーでシーンを呼び出すと、ユニットがシーンを自動的に記録します。STEPメニューで設定したのと同じシーン数を読み込んだ後、自動的にメインメニューに戻ります。

エラーコード

本体の電源が入ると、ユニットは自動的にリセットがかかります。このリセットでは、すべての内部モーターが初期位置に戻ります。このとき内部モーターに問題があると、ディスプレイに01Erと点滅して表示されます。数字は機能番号で、02Erと表示された場合はチャンネル 2 のモーターに異常があることを示します。スタートアップで複数のエラーが発生した場合は、すべてディスプレイに表示されます。例えば、チャンネル 1 とチャンネル 3 に異常がある場合、01Erと03Erが 5 回点滅します。

スタートアップで異常があった場合、ユニットは自動的に 2 度目のモーター調整を行います。2 度目の調整時にもエラーがあった場合は、自動的に 3 度目の調整が行われます。

3 度目の調整でもエラーが解決しない場合、ユニットは以下のように動作します。

- エラーが 2 つ以下の場合 : エラーが解消されるまで通常の動作を行います。エラーの点滅表示は引き続き行われます。
- エラーが 3 つ以上の場合 : リペアが行われるまでスタンバイモードに入ります。

01Er - パン動作エラー

スタートアップやリセットコマンドの結果、アーム部が初期の位置に戻っていない場合に表示されます。アームの磁気回路もしくはステッピングモーターの不具合が考えられます。

03Er - チルト動作エラー

スタートアップやリセットコマンドの結果、ヘッドが初期の位置に戻っていない場合に表示されます。チルトの磁気回路もしくはステッピングモーターの不具合が考えられます。

オペレーションモード

VIZI LED SPOT には 3 つのオペレーションモードがあります。この項ではそれぞれのモードについて説明します。

スタンドアローンモード

音に反応したサウンドアクティブ動作や、内蔵プログラムに従った動作を単体で行います。

1. メインメニューを表示させます。
2. **PLAY**と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
3. **AUTO**と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して **OFF**、**run**、**Aud I**のいずれかを選択します。**run**は内蔵プログラムの再生で、**Aud I**はサウンドアクティブモードとなります。
5. モードを選択し、ENTER ボタンを押します。
6. メインメニューへ戻るには **MODE/ESC** ボタンを押します。システムメニューから、ショーの変更やパン/チルトの反転も可能です。

マスター／スレーブモード

この機能では、最大 16 のユニットを同期させて使用することができます。ユニットは内蔵プログラム、またはサウンドアクティブモードで動作します。マスター／スレーブモードでは、1 つのユニットがマスター(コントロール)ユニットとして動作し、残りのユニットはマスターユニットのプログラムに準じて動作します。マスターユニットはどのユニットにも振り分けることができますが、マスターに設定できるのは末端の 1 台のみです。

1. DMX ケーブルをユニット側面のコネクタに接続してユニット同士をつなげます。XLR コネクタのオス側が入力、メス側が出力となります。1 台目のユニットがマスターとなり、ユニットの XLR コネクタのメス側のみを使用します。最後に接続されるユニットでは XLR コネクタのオス側のみを使用します。
2. メインメニューを表示させます。
3. **PLAY**と表示されるまで UP/DOWN ボタンを押して、ENTER ボタンを押します。
4. UP/DOWN ボタンを押して **run**または**Aud I**を選択します。**run**は内蔵プログラムの再生、**Aud I**はサウンドアクティブモードの起動となります。
5. UP/DOWN ボタンを押して**ALON**または**MAST**を選択し、ENTER ボタンを押します。**ALON**はスタンドアローンモード、**MAST**はマスター／スレーブモードとなります。
6. ENTER ボタンを押して決定します。
7. メインメニューに戻るには **MODE/ESC** ボタンを押します。
8. システムメニューから、ショーの変更やパン/チルトの反転も可能です。

DMX コントロールモード

外部 DMX コントローラーを使って操作を行います。

1. VIZI LED SPOT と DMX コントローラーを XLR デジタルケーブルで接続します。
2. VIZI LED SPOT には 10 チャンネルモードと 12 チャンネルモードがあります。FINE メニューの説明を参照の上、いずれかを選択してください。
3. Addr メニューの説明を参照の上、DMX アドレスの設定を行ってください。
4. DMX コントローラーのマニュアルと、DMX 表を参照して操作を行ってください。

[DMX 表]

12 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	機能
1	0 - 255	パンの動作 (8 ビット)
2	0 - 255	パンの動作 (16 ビット)
3	0 - 255	チルトの動作 (8 ビット)
4	0 - 255	チルトの動作 (16 ビット)
5		<u>カラーホイール</u>
	0 - 14	オープン
	15 - 29	カラー1
	30 - 44	カラー2
	45 - 59	カラー3
	60 - 74	カラー4
	75 - 89	カラー5
	90 - 104	カラー6
	105 - 119	カラー7
	120 - 127	カラー8
	128 - 189	前方レインボーエフェクト 速 - 遅
190 - 193	回転なし	
194 - 255	後方レインボーエフェクト 遅 - 速	
6		<u>ゴボ</u>
	0 - 9	オープン
	10 - 19	回転ゴボ 1
	20 - 29	回転ゴボ 2
	30 - 39	回転ゴボ 3
	40 - 49	回転ゴボ 4
50 - 59	回転ゴボ 5	

	60 - 69 70 - 79 80 - 95 96 - 111 112 - 127 128 - 143 144 - 159 160 - 175 176 - 191 192 - 255	回転ゴボ 6 回転ゴボ 7 回転・シェイクゴボ 1 回転・シェイクゴボ 2 回転・シェイクゴボ 3 回転・シェイクゴボ 4 回転・シェイクゴボ 5 回転・シェイクゴボ 6 回転・シェイクゴボ 7 連続回転ゴボ ホイール 遅 - 速
7	0 -127 128 - 189 190 - 193 194 - 255	<u>ゴボインデックス&ローテーション</u> ゴボインデックス 前方ゴボ回転 速 - 遅 回転なし 後方ゴボ回転 遅 - 速
8	0 - 31 32 - 63 64 - 95 96 - 127 128 - 135 136 - 143 144 - 151 152 - 159 160 - 167 168 - 175 176 - 183 184 - 191 192 - 199 200 - 207 208 - 215 216 - 223 224 - 231 232 - 239 240 - 247 248 - 255	<u>回転プリズム/ゴボ</u> オープン 3 ファセットプリズム 5 ファセットプリズム 台形プリズム マクロ 1 マクロ 2 マクロ 3 マクロ 4 マクロ 5 マクロ 6 マクロ 7 マクロ 8 マクロ 9 マクロ 10 マクロ 11 マクロ 12 マクロ 13 マクロ 14 マクロ 15 マクロ 16

9	0 - 31 32 - 63 64 - 95 96 - 127 128 - 159 160 - 191 192 - 223 224 - 255	<u>シャッター&ストロボ</u> LED オフ LED オン ストロボ 遅 - 速 LED オン パルスエフェクト LED オン ランダムストロボ 遅 - 速 LED オン
10	0 - 255	<u>デイマー</u> 0% - 100%
11	0 - 225 226 - 235 236 - 245 246 - 255	<u>パン/チルト動作スピード</u> スピード 最速 - 最遅 パン/チルト動作時ブラックアウト ホイール切替時ブラックアウト 機能なし
12	0 - 19 20 - 39 40 - 79 80 - 84 85 - 87 88 - 90 91 - 93 94 - 96 97 - 99 100 - 119 120 - 139 140 - 159 160 - 179 180 - 199 200 - 219 220 - 239 240 - 255	<u>リセット&内蔵プログラム</u> カラーチェンジ ノーマル カラーチェンジ 分割 機能なし 全モーターリセット スキャンモーターリセット カラーモーターリセット ゴボモーターリセット 機能なし その他モーターリセット 内蔵プログラム 1 内蔵プログラム 2 内蔵プログラム 3 内蔵プログラム 4 内蔵プログラム 5 内蔵プログラム 6 内蔵プログラム 7 サウンドアクティブプログラム

10 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	機能
1	0 - 255	パンの動作 (8 ビット)
2	0 - 255	チルトの動作 (8 ビット)
3		<u>カラーホイール</u>
	0 - 14	オープン
	15 - 29	カラー1
	30 - 44	カラー2
	45 - 59	カラー3
	60 - 74	カラー4
	75 - 89	カラー5
	90 - 104	カラー6
	105 - 119	カラー7
	120 - 127	カラー8
	128 - 189	前方レインボーエフェクト 速 - 遅
	190 - 193	回転なし
	194 - 255	後方レインボーエフェクト 遅 - 速
4		<u>ゴボ</u>
	0 - 9	オープン
	10 - 19	回転ゴボ 1
	20 - 29	回転ゴボ 2
	30 - 39	回転ゴボ 3
	40 - 49	回転ゴボ 4
	50 - 59	回転ゴボ 5
	60 - 69	回転ゴボ 6
	70 - 79	回転ゴボ 7
	80 - 95	回転・シェイクゴボ 1
	96 - 111	回転・シェイクゴボ 2
	112 - 127	回転・シェイクゴボ 3
	128 - 143	回転・シェイクゴボ 4
	144 - 159	回転・シェイクゴボ 5
	160 - 175	回転・シェイクゴボ 6
	176 - 191	回転・シェイクゴボ 7
	192 - 255	連続回転ゴボホイール 遅 - 速
5		<u>ゴボインデックス&ローテーション</u>
	0 - 127	ゴボインデックス

	128 - 189 190 - 193 194 - 255	前方ゴボ回転 速 - 遅 回転なし 後方ゴボ回転 遅 - 速
6	0 - 31 32 - 63 64 - 95 96 - 127 128 - 135 136 - 143 144 - 151 152 - 159 160 - 167 168 - 175 176 - 183 184 - 191 192 - 199 200 - 207 208 - 215 216 - 223 224 - 231 232 - 239 240 - 247 248 - 255	<u>回転プリズム／ゴボ</u> オープン 3 ファセットプリズム 5 ファセットプリズム 台形プリズム マクロ 1 マクロ 2 マクロ 3 マクロ 4 マクロ 5 マクロ 6 マクロ 7 マクロ 8 マクロ 9 マクロ 10 マクロ 11 マクロ 12 マクロ 13 マクロ 14 マクロ 15 マクロ 16
7	0 - 31 32 - 63 64 - 95 96 - 127 128 - 159 160 - 191 192 - 223 224 - 255	<u>シャッター&ストロボ</u> LED オフ LED オン ストロボ 遅 - 速 LED オン パルスエフェクト LED オン ランダムストロボ 遅 - 速 LED オン
8	0 - 255	<u>デイマー</u> 0% - 100%
9		<u>パン／チルト動作スピード</u>

	0 - 225 226 - 235 236 - 245 246 - 255	スピード 最速 - 最遅 パン/チルト動作時ブラックアウト ホイール切替時ブラックアウト 機能なし
10	0 - 19 20 - 39 40 - 79 80 - 84 85 - 87 88 - 90 91 - 93 94 - 96 97 - 99 100 - 119 120 - 139 140 - 159 160 - 179 180 - 199 200 - 219 220 - 239 240 - 255	<u>リセット&内蔵プログラム</u> カラーチェンジ ノーマル カラーチェンジ 分割 機能なし 全モーターリセット スキャンモーターリセット カラーモーターリセット ゴボモーターリセット 機能なし その他モーターリセット 内蔵プログラム 1 内蔵プログラム 2 内蔵プログラム 3 内蔵プログラム 4 内蔵プログラム 5 内蔵プログラム 6 内蔵プログラム 7 サウンドアクティブプログラム

DMX-512 について

DMX-512

DMX-512 とは照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN、OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMXリンク

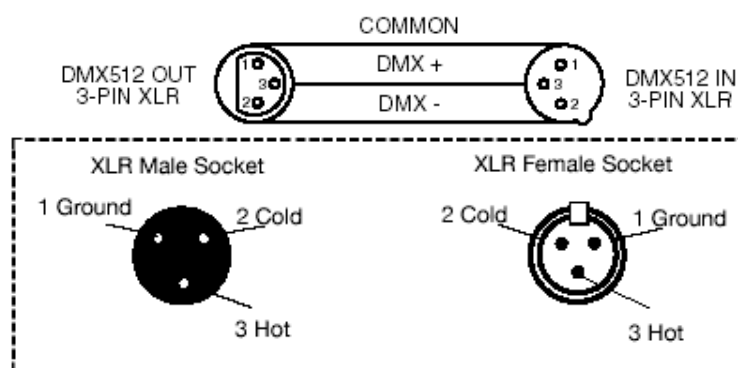
DMXデータの正確な送受信を行うため、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使いください。また、ユニットが接続された順番とDMXのアドレス指定は関係しません。ユニットごとに任意のアドレスを設定することが可能です。

DMX ケーブル

VIZI LED SPOT は 10 または 12 チャンネルの DMX 信号を使用するユニットです。DMX アドレスは本体側面のディスプレイとボタンで設定してください。DMX 機器との接続は 3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。



DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照してください。

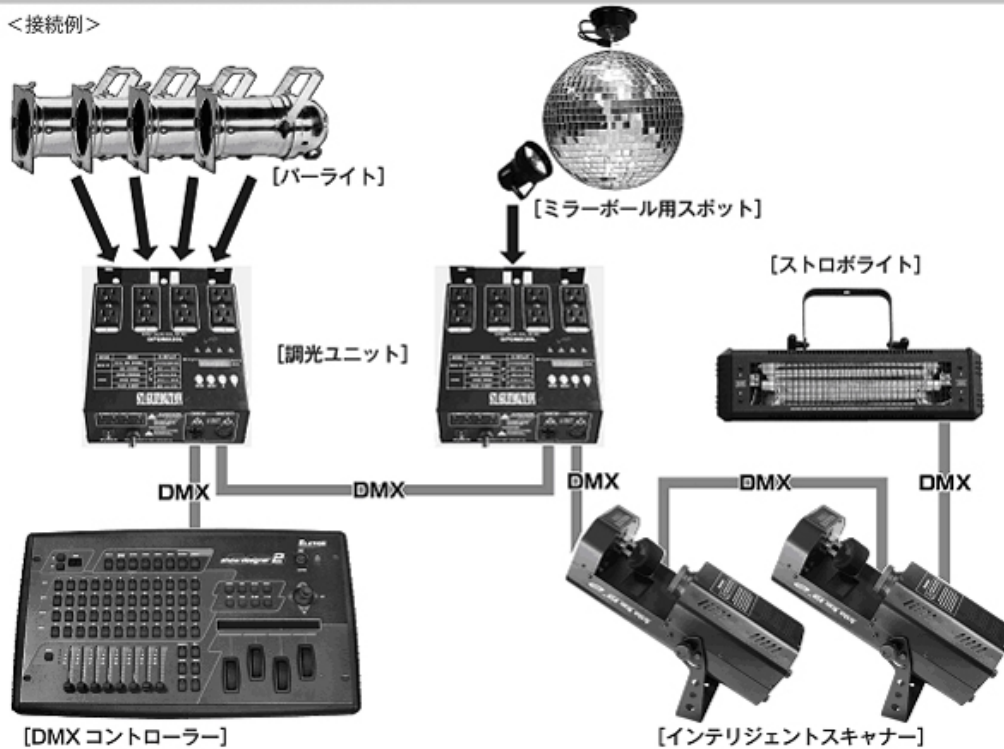


5 ピン XLR 仕様の DMX コネクタ

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクタの代わりに 5 ピン仕様の XLR コネクタを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクタを VIZI LED SPOT に接続する際は変換アダプターをお使いください。

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



- ・ DMX 対応の照明機器は、上図の様に配線を行います。配線にはDMXケーブルを使用してください。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続することが可能です。
- ・ DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていません。なるべく距離が短くなるように配線してください。
- ・ 調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト等の明るさを調整することが可能です。
- ・ インテリジェントスキャナーやストロボ等の電源は通常のコンセントから取ってください。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか、故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取ってください。

※ - 長距離の配線について -

50mを超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達が上手くいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合はターミネーターを使用してください。ターミネーターとは、最後に接続された DMX 対応照明機器(上図の場合はストロボライト)の OUT 端子に差し込むダミープラグをさします。ターミネーターの作成方法は下記を参照してください。

ターミネーターの作成方法

	<p>ターミネーターは、HOSA DMT-414をお薦め致します。</p>
<p>抵抗</p>	<p>自作される場合はオスのXLRコネクタを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。</p>

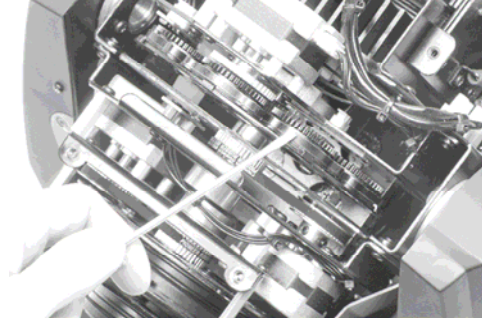
ゴボの交換

VIZI SPOT LEDはゴボを交換することが可能です。ゴボを交換する際は、必ず電源ケーブルをコンセントから抜き、慎重に作業を行ってください。

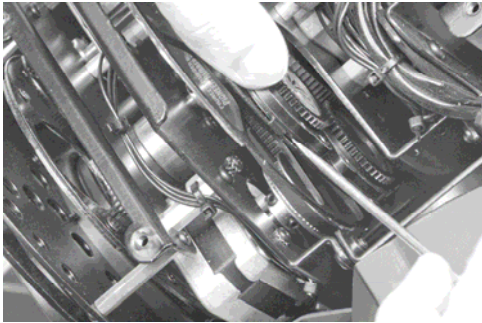
[図1]



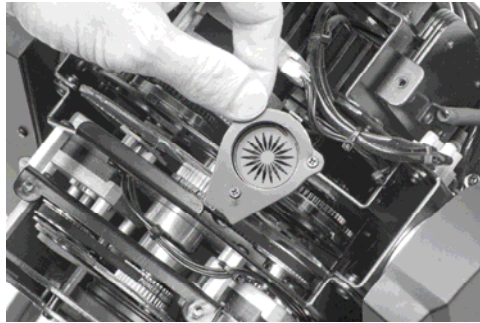
[図2]



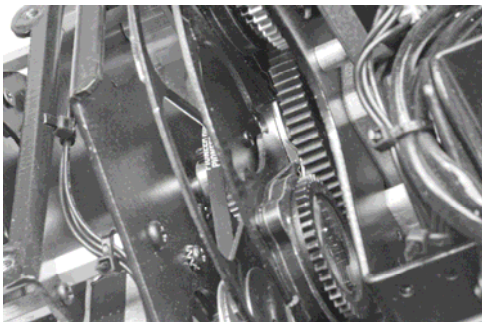
[図3]



[図4]



[図5]



1. ヘッド部のレンズが無い側にある4本のネジをプラスドライバーで緩めてカバーを開きます。
2. ゴボホイールを手で回し、交換したいゴボのある位置で止めます。
3. ゴボフレームのツメをレンズと反対側へ押しながら、ホイールから引き出します。
4. ゴボを押さえているリングをつまんで外し、ゴボフレームからゴボを取り出します。
5. ゴボを交換したら、逆の手順でゴボフレームを元に戻し、ヘッドのカバーを取り付けます。

ヒューズの交換

1. 電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
2. 電源ケーブルの隣にあるヒューズホルダーをマイナスドライバーで回して取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを本体に取り付けます。

メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行ってください。〈 〉内は対応期間の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行ってください。

※2 ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用ください。

外側のレンズ 〈一週間に一度〉

■レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行ってください。

カラーフィルター〈一ヶ月に一度〉

■カラーフィルターが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

ゴボ 〈一ヶ月に一度〉

■埃や汚れが付着しますと出力される模様に影ができます。また、回転部分に使用されているベアリングは、熱や埃の影響で油分の潤滑性能が低下し、ドライブギアにかかる回転負荷が増大して磨耗し易くなります。また、モーターにかかる負荷も大きくなるため、故障の原因となる可能性があります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアダスターやブラシで残った埃を除去してください。ベアリング部は耐熱性が高く柔らかいオイル等を塗布してください。

ガラス・ゴボ 〈一ヶ月に一度〉

■埃や汚れが付着しますと出力される模様に影ができます。また、回転部分に使用されているベアリングは、熱や埃の影響で油分の潤滑性能が低下し、ドライブギアにかかる回転負荷が増大して磨耗し易くなります。また、モーターにかかる負荷も大きくなるため、故障の原因となる可能性があります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行ってください。ベアリング部は耐熱性が高く柔らかいオイル等を塗布してください。

プリズム <一ヶ月に一度>

■プリズムレンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。また、回転部分に使用されているベアリングは、熱や埃の影響で油分の潤滑性能が低下し、ドライブギアにかかる回転負荷が増大して磨耗し易くなります。また、モーターにかかる負荷も大きくなるため、故障の原因となる可能性があります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行ってください。ベアリング部は耐熱性が高く柔らかいオイル等を塗布してください。

ディマー/シャッター <一ヶ月に一度>

■ディマー/シャッターの動作状況を確認する光学センサーに埃が付着すると、正常に動作しなくなる可能性があります。また、モーターにかかる負荷も大きくなるため、故障の原因となる可能性があります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去してください。

内部レンズ <一ヶ月に一度>

■内部レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→めがね拭き等の柔らかい布で埃や汚れを拭き取ってください。

ファンおよび通気孔 <一週間に一度>

■ファンの動作不良、及び通気孔の目詰まりなどで内部冷却が行えない場合、内部温度が上昇し故障の原因となります。ファン等に埃や汚れが付着しますと正常な内部冷却が行えません。

→ベース部分やヘッド部分のファン及び通気孔についたチリやホコリを掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去してください。

内部各種センサー <一ヶ月に一度>

■温度センサー及び、各部位の動作状況を確認するためのセンサーに埃や汚れが付着しますと、誤動作、故障の原因となります。

→掃除機で大きな埃を取り除いた後、エアードスターやブラシで残った埃を除去してください。

信号ケーブル、電源ケーブル、アダプター差込口 <一ヶ月に一度>

■差込口部分に埃や汚れがつかますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認ください。

ネジ <三ヶ月に一度>

■各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認ください。

故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、まず下記をご確認ください。

下記の方法でも症状が改善されない、またその他不具合が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせください。

症状	確認事項
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">正しい電源・電圧に接続されているか電源ケーブルが損傷していないかヒューズが切れていないか
DMX で動作しない	<ul style="list-style-type: none">接続に問題がないか正常な DMX ケーブルを使用しているかDMX アドレスが正しく設定されているか
サウンドアクティブで動作しない	<ul style="list-style-type: none">小さい音や高音でないかマイク感度が低く設定されていないか
マスター/スレーブモードで動作しない	<ul style="list-style-type: none">接続された複数台の機器の内、1 台のみがマスター機に設定されているか

製品仕様

モデル	VIZI LED SPOT
LED	22W 白色 LED × 1 個
カラー	7 + UV+ 白
ビーム角	14 度
DMX チャンネル数	10 または 12DMX チャンネル
消費電力	88W
ヒューズ	20mm 2A タイムラグ
使用電圧	AC100V、50/60Hz
寸法	30.3(W) × 41.9(H) × 21.4(D) cm
重量	9kg

※製品の仕様は改良のため、予告無く変更する場合がございます。



保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱方法が不適當（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。